

令和 2 年 度 事 業 報 告 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

認定特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで
認定特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

事業の成果

本年度も活動の主軸である行政機関に収容されている犬猫の保護・譲渡事業を積極的に行い、北海道内の犬猫の行政殺処分の減少に寄与しました。また、より多くの方々に対して、北海道、ひいては日本国内における犬猫の現状を、会報やインターネット等を通じて啓発し、人とペットが幸せに共生していく社会づくりに取り組みました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響でイベントや集客を伴う行事を行うことはほとんどできませんでしたが、札幌市と共催で行った「飼い主のいない猫 保護猫譲渡会」では、保護した多くの野良猫たちに新たな飼い主との出会いがあり、家庭猫として暮らせています。また、主にインターネットで、動物愛護と福祉の啓発普及にも努め、Youtube で動画配信も多く行いました。新しい飼い主を探す事業では、新たに実施した譲渡前の家庭訪問で、保護した犬猫を適正飼養していただける方へ譲渡し、人と動物が共生する幸せな社会創りに尽力しました。またペットと共生するための地域環境の保全事業では、野良猫に不妊手術を施した方々に対して多くの助成金を交付することが出来ました。行政機関から犬猫を譲り受けた飼い主に不妊手術代の一部を助成する「行政機関譲渡いぬねこ不妊手術助成金事業」では、2年目となり多くの犬猫たちの不妊手術代を助成することが出来ました。

その他の事業として、飼い主がやむなく飼えなくなったペットを有償で引き取るペットの預かり事業も行い、行き場のないペットの減少に努めました。

事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

1. 保護事業

行政機関から処分される犬猫を引き取って、新しい飼い主を探す事業では犬67頭、猫19頭と野良猫だった猫17頭を譲渡しています。また、令和2年5月末より開始した滝上町の餌付けされた半野犬の引き取りでは、人慣れが困難な8頭の犬を現地の飼い主に返還しています。譲渡数は、犬は令和元年度より17頭、猫は9頭多くなりました。保護した犬は76頭、猫は36頭の合計112頭で、前年度の犬57頭、猫36頭の計93頭で、ここ数年は、動物愛護管理法の改正により行政機関に収容される犬猫も少なくなり、ピーク時からみると保護数はほぼ減少しています。しかし令和2年度も生死にかかわる負傷した猫の引き取りが多く、スタッフのケアにかかる時間、医療費等での負担が増えています。当会では、人に馴れていない犬や繁殖用に使われた犬等の他、高齢や病気や怪我等のハンデのある犬猫たちも分け隔てなく平等に引取りしています。

当会で長く暮らす保護犬猫も多く、老衰や病気が回復せず亡くなる犬猫もいます。亡くなった犬猫は犬が13頭、猫が6頭でした。出産後直ぐに、育つことが出来ずに亡くなった子犬も3頭含まれていますが、ほとんどが高齢の犬猫でした。



<2021.4月会報より>

11年間の保護状況（平成22年4月1日～令和3年3月31日）

犬	引取り数	譲渡数	引き取り後死亡数	譲渡率
令和2年度	76	67	13	110.5%
令和元年度	57	50	6	87.7%
平成30年度	57	48	8	84.2%
平成29年度	56	49	13	87.5%
平成28年度	68	64	14	94.1%
平成27年度	132	133	27	100.1%
平成26年度	110	88	22	80.0%
平成25年度	118	97	14	82.2%
平成24年度	129	99	13	76.7%
平成23年度	112	87	6	77.7%
平成22年度	110	95	6	86.4%

猫	引取り数	譲渡数	引取り後死亡数	譲渡率
令和2年度	36	36	6	100.0%
令和元年度	50	27	8	54.0%
平成30年度	39	37	4	94.8%
平成29年度	41	33	5	80.5%
平成28年度	72	58	12	80.5%
平成27年度	66	73	9	110.6%
平成26年度	76	60	9	78.9%
平成25年度	46	36	4	78.2%
平成24年度	29	40	4	137.9%
平成23年度	67	43	2	64.2%
平成22年度	81	62	9	76.5%
令和2度犬猫合計	112	103	19	92.0%

■健康管理状況

保護した犬や猫は引取り直後に動物病院で、感染症検査、混合ワクチン接種、基本的な健康診断もしています。引取り直後の健康状態を把握することで、病気の早期発見や予防に努めることが出来ます。また、麻酔による弊害など健康に問題がない限り、引取りした犬猫に避妊・去勢手術を実施、同時にマイクロチップも装着し、犬には狂犬病予防注射も接種、長沼町への畜犬登録も実施しています。

これにより、病気の予防はもちろんのこと、安易なあるいは望まれない交配を完全に防ぎ、迷子や遺棄の防止に役立っています。

■飼育環境状況

猫舎での暖かで快適な環境のお蔭で、猫風邪の罹患率が低くなっています。預かりボランティアの方に介護が必要な犬や猫を預かって貰うことで、家庭で生活することが出来、ハンデのある犬猫のQOLが上がっています。

複数の担当スタッフが、月2回プロの訓練士による指導を受け、犬に対する理解と扱い方を学び、接し方等の飼育方法の改善に役立てました。

■足長基金事業

足長基金は、高齢だったり傷病等のハンデがあるため、なかなか出会いがなく、健康な個体に比べてケアに人手も費用も多くかかる犬猫を対象にした基金で、令和2年度は犬15頭、猫8頭が足長基金の対象となり、年度末現在、犬17頭、猫30頭が足長に加入しています。お蔭さまで長生きできる子も多くなっており、常時50頭前後を看ています。FIV陽性の猫が増えている事や、中には毎日の点滴や下半身不随で圧迫排泄が必要な猫も多く、スタッフの介護に要する時間も長くなっています。しかし足長基金により、病気や怪我でハンデを負った重症の犬猫も救え、医療も充分にかけることが出来ています。



<2021年3月末現在の足長基金の犬猫たち>

■終生預かり制度

家族の一員として大切に飼育され一生を終える犬や猫がいる一方で、日本では、毎年多くの犬猫が不要とされ殺処分されています。行政では終生飼養の推進や不妊手術の徹底等、適正に飼育するよう指導していますが、犬の咬傷事故や、多頭飼育放棄等、飼い主側の不適切な飼育が原因で放棄される犬猫は後を絶ちません。特に猫の多頭飼育崩壊は、止まることはなく、社会問題にもなっています。反面、動物好きな高齢の方や、様々な事情から犬猫の飼い主になれない方も多くいます。そして当会には、そういった方々に看ていただき、穏やかに暮らして欲しい犬猫やハンデがあり家庭で継続的なケアをしていただくとベストな犬猫もいます。そこで令和2年末から、「終生預かり制度」を開始し、3月末現在、対象犬猫を預かりして下さる5名預かりボランティアさんをサポートし、犬のラッキーに仁(じん)、ベンジャミン、猫の八茶にパップが預かりボランティア、スタッフの家庭で穏やかに過ごしています。(八茶は2021年5月25日永眠いたしました。)

2. 動物の保護・愛護・福祉の啓発事業

動物の保護や愛護、福祉をイベントやインターネット及び自会の会報誌等、テレビや新聞、雑誌等のメディアを通じて、子どもや保護者等多くの方々に生命尊重を伝えました。

また殺処分はもとより、不幸な犬猫を減らしていくことを使命とし、広く啓発活動を行い理解と協力を求めました。

今後も「人と動物が幸せに共生する社会」の実現に建設的な意見要望を行ってまいります。

3. ペットと共生するための地域環境の保全事業

狂犬病などの人畜共通感染症の恐ろしさを伝え、飼い主に正しい飼い方やワクチン接種の重要性を、一般市民にも保健衛生の大切さを伝えました。野良猫と共生できる方法を伝え、飼い主のいない猫の保護と譲渡、保護主を支援しました。

「飼い主のいない猫基金」では、該当する活動グループに対し、野良猫の避妊・去勢手術代の一部を援助、飼い主のいない猫の活動周知に努めました。令和2年度も多くの飼い主のいない猫に不妊手術の助成金を交付し、飼い主のいない猫が増加しない施策として、大きな成果を出すことが出来ました。

また、飼い主のいない猫基金で不妊手術を行い、元の場所へリターンせずに保護した猫について、札幌市動物管理センター共催の保護猫譲渡会を2回開催しました。

令和2年 度	成 猫		子 猫		年 齢 不 明		合 計
	成猫オス	成猫メス	子猫オス	子猫メス	不明オス	不明メス	
4月	8	4	0	0	2	3	17
5月	7	12	2	2	3	2	28
6月	0	3	0	0	2	0	5
7月	25	28	0	1	6	2	62
8月	6	11	2	1	5	1	26
9月	8	20	9	5	3	5	50
10月	4	6	2	7	1	2	22
11月	6	13	6	7	6	12	50
12月	5	6	4	7	1	3	26
1月	3	3	0	0	0	2	8
2月	18	16	1	3	0	1	39
3月	10	17	3	3	0	3	36
決算	6	6	1				13
合計	106	145	30	36	29	36	382

4. 犬猫の避妊去勢の普及推進事業

当会では、麻酔等の健康上の問題がない限りは、保護した犬猫に不妊措置を行ってから譲渡しています。しかし「旭川市動物愛護センターあにまある」や札幌市動物管理センター（成猫と一部のオス犬で実施）以外の自治体では、不妊手術の措置は行われずに新しい飼い主への指導での譲渡を行っています。

社会から、行き場を失う不幸な犬猫を減らしていくには、不妊手術を施してから譲渡することが重要ですが、そうしたことから、令和元年7月末より、保健所や行政機関で犬猫を譲受された飼い主に対し、不妊手術の一部を助成する制度「保健所譲渡犬猫不妊手術助成金事業」を開始し、初年度の令和元年度は、8月からの開始から、犬12頭、猫69頭の飼い主に不妊手術の一部を

助成することが出来ましたが、令和2年度は、犬35頭、猫167頭の合計202頭の譲渡犬猫に不妊手術代の一部を助成することが出来、大きな成果を上げることが出来ました。

令和2年	犬				猫				合計
	成犬 オス	成犬 メス	子犬 オス	子犬 メス	成猫 オス	成猫 メス	子猫 オス	子猫 メス	
4月	0	1	0	0	4	2	3	3	13
5月	3	0	0	2	3	3	1	2	14
6月	0	1	0	0	2	2	1	3	9
7月	1	0	1	2	4	3	1	2	14
8月	0	0	1	2	3	2	1	2	11
9月	1	0	0	0	0	1	2	2	6
10月	0	2	2	2	2	0	2	3	13
11月	2	0	0	0	1	0	4	2	9
12月	0	3	0	0	4	3	8	8	26
1月	1	1	0	0	5	2	7	5	21
2月	1	0	0	0	4	2	5	9	21
3月	2	2	0	1	1	3	9	14	32
決算	0	0	1	0	4	3	1	4	13
合計	11	10	5	9	37	26	45	59	202

5. 動物福祉・愛護・トレーニングに係わる講習会開催事業

4月から3月まで、月に2回程度ドックトレーナーを招き、犬のしつけ教室を15回開催、延べ87頭の犬と飼い主がプロの指導のもと問題解決方法や積極的な飼育を学びました。コロナ禍ではありましたが、譲渡した子犬も多かったこともあり、早めのトレーニングが肝心ですので、屋外での開催といったこともあり、卒業子犬や成犬の延べ55頭が参加いたしました。

講義内容は、ブログ等で紹介し、しつけトレーニングの重要性や、トレーニングを行うことで、飼い主との関係強化のみならず、犬の精神状態が安定するなどの犬の福祉の向上につながることを伝えられるよう努めています。

<その他の事業>

当会の保護活動は行政機関からの犬や猫の引取りが基軸ですが、近年、少子高齢化、人口減少が問題となり核家族化が進み、飼い主の事情でペットを終生飼養できない等の相談も多くあります。そうしたことから、飼い主が飼えなくなったペットを有償で引き取り、新しい飼い主を探す事業とペットホテル事業も行いました。社会的な背景により、需要が多くなることも考えられますが、行政機関に収容されている犬猫の命を優先する方向で事業を行っています。

【 令和2年度 毎月の活動報告 】

4月

- ・卒業犬猫の譲渡前の家庭訪問を実施
- ・しっぽショップ(長沼の実店舗)リニューアル
- ・新型コロナウイルスによる面会・ボランティア活動の自粛
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報春号 50号発送
- ・しっぽの会卒業子犬を対象とした犬のしつけ教室開催(3月まで月2回ほど完全予約制)

5月

- ・新型コロナ禍、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式中止
- ・滝上町の餌やり半野良問題に着手

6月

- ・滝上町役場に半野良問題の要望と今後について計画
- ・HOKKAIDO しっぽの会第10回定期総会開催
- ・繁殖販売業者に犬猫を守る数値規制を求め環境省に要望書提出

7月

- ・長沼町役場戸川町長に令和元年度ふるさと納税のお礼訪問
- ・2020NPO 通信発送
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報夏号 51号発送

8月

- ・当会の呼びかけにより、滝上町役場で、滝上役場、オホーツク総合振興局、紋別保健所の各担当者、餌やり飼い主(所有権を主張しない)と今後の方向性の会議を実施
- ・長沼町のペットの飼い主を対象とした不妊手術代の助成金事業を9月まで実施
- ・環境省に繁殖業者等に対する環境省令数値規制基準案に要望書提出

9月

- ・札幌市共催保護猫譲渡会2日間開催

10月

- ・2021 チャリティカレンダー発売(13年目)卓上カレンダー発売(7年目)
- ・札幌市共催保護猫譲渡会2日間開催
- ・環境省に繁殖業者等に対する環境省令数値規制基準案パブコメ提出
- ・HOKKAIDO しっぽの会会報秋号 52号発送

11月

- ・内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」へ参画

- ・札幌市共催保護猫譲渡会 2 日間中止

12 月

- ・新型コロナウイルスにより 2021 私たちにできること winter(地下歩行空間)開催中止

1 月

- ・HOKKAIDO しっぽの会会報冬号 53 号発送

2 月

- ・しっぽの会オリジナルマスク発売
- ・敷地内に秋田犬遺棄、警察に通報、全国放送に
- ・卒業犬猫「わが子が一番」飼い主さまからの写真 HP で 91 頭公開

3 月

- ・2020 年度、飼い主のいない猫 382 頭、行政機関譲渡いぬねこ不妊手術助成金事業 202 頭に不妊手術助成金実施集計

会報誌 年4回 1月・4月・7月・10月発行

足長通信 毎月末発行

正会員数 208名

サポート会員数 195名

ジュニア会員 3名

足長会員 345名